

【第3回】肱川流域治水協議会

- ・実施日 : 令和3年3月19日(金) 15:30~16:30
- ・場所 : 大洲河川国道事務所 3階災害対策室 (WEB会議)
- ・参加機関 : 大洲市、西予市、内子町、
愛媛県 (大洲土木事務所、西予土木事務所、南予地方局産業経済部、
中予地方局建設部、中予地方局産業経済部)
中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所
四国森林管理局愛媛森林管理署、
森林整備センター松山水源林整備事務所、
四国地方整備局 (大洲河川国道事務所、肱川緊急治水対策河川事務所、
山鳥坂ダム工事事務所、肱川ダム統合管理事務所)



WEB会議開催状況



二宮大洲市長



管家西予市長



小野植内子町長

●議事内容

- ・規約、構成員の変更について合意が得られた。
- ・流域治水プロジェクトについて説明を行った。
- ・自治体で実施する流域治水の取り組み事例について情報提供を行った。
- ・今後のスケジュールについて確認を行った。

【第3回】肱川流域治水協議会

● 構成員の主な発言要旨

○大洲市 二宮市長

- ・ 矢落川など多くの支川を有する地域特性からこれまで以上に内水対策への取り組みが重要。
- ・ 肱川減災対策計画に基づき、放水路や止水壁整備、水中ポンプを設置するための窯場の整備などにより浸水被害の軽減に努めてきたが、肱川緊急治水対策完了後には内水対策が必要となる箇所が増加することから肱川減災計画の見直しを実施中。
- ・ 農業や林業分野の関係機関と連携しながら、森林や水田の保全、活用に取り組むことで、水害対応力の向上、被害軽減を図り、流域住民の暮らしを守る治水対策を進めていきたい。

○西予市 管家市長

- ・ 田んぼダムは大雨時に一時的に雨水をため、水田が時間をかけ少しずつ流すことで河川や水路の急激な水位上昇を抑え、流域内の集落や農作物の浸水被害を抑えることや下流の流出抑制に期待が出来るため、広大な水田を有する本市では有効な取り組みと考える。
- ・ 田んぼダム推進に当たっては、地域の方のご理解とご協力をいただけるかということが一番重要。田んぼダムを導入したせいで畔が崩れる。そして収量が落ちるなどの問題については、1つ1つ解決策を考えていき、地域の方が納得できるような材料を確保していく必要がある。

○内子町 小野植町長

- ・ 内子町は肱川の上流域であり、できるだけ森林の保水力を高めて下流に流す水を少なくすることがとても重要。そのため、森林の整備による治山対策をしっかりと取り組んでいく。
- ・ 林業経営の効率化と森林管理の適正化を促進する森林管理システムの導入や森林環境譲与税を活用した環境林整備事業、木質バイオマス発電での木材の消費増加などを行うことで、森林整備・治山対策を積極的に取り組んで行きたいと考えている。
- ・ 子どもから大人まで幅広く学べる森の学校を開催し、町民の治山治水に対する自己啓発、意識向上を図っていく。

○農林水産省 四国土地改良調査管理事務所平山所長

- ・ 田んぼダムについては、農業の多面的機能の発揮という形で取り組むことを考えている。
- ・ 農村地域の強靱化という面からも、水田を含めた農業施設の多面的機能の把握を進めていきたい。
- ・ 地域の方々を含めて理解していただかないと進めていけないものもあり、連携しながら進めていきたい。

○林野庁 愛媛森林管理署唐澤署長

- ・ 肱川上流には9万haの森林が広がっており、森林整備により森林の公益的機能を発揮させ、下流の洪水を防ぐことを実施している。
- ・ 民有林が主体であり、愛媛県、森林整備センターとの連携、森林環境譲与税の活用により市町とも連携して取り組んでいきたい。

○森林研究・整備機構森林整備センター小野所長

- ・ 森林管理の取り組みについて、関係市町と協力しながら森林整備に努めていきたい。